

ギンガクノフユ

2015年3月1日(日)～9日(月) 岩手県和賀郡西和賀町

雪の演劇祭 2015

湯田温泉峡 風呂美術大学 2015 冬

放課後のちいさな芸術家

主催 | 銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会

助成 | 平成 26 年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

gingaku.jimdo.com



Ticket & Charge

雪の演劇祭 2015 [舞台上演3作品+映像上映1作品]

2015年3月7日(土) 12:30 開場 13:00 開演 | 西和賀町文化創造館 銀河ホール

入場料: 500円 [中学生以下無料] ※すべての作品をご覧くださいことができます。

終演後パーティー参加費: 1,000円 ※どなたでも参加できます。

湯田温泉峡 風呂美術大学 2015 冬 [展示1作品]

2015年3月8日(日)より展示開始 [終了未定] | 旧・西和賀町立川尻小学校 校舎

入場料: 無料 ※作品は屋外からご覧いただくことができます。

(校舎内での鑑賞を希望される場合は、090-2238-6465(森)までご連絡ください)

放課後のちいさな芸術家 [映像上映1作品+展示]

2015年3月7日(土) 12:00～ | 西和賀町文化創造館 銀河ホール ホワイエ

入場料: 無料 ※作品の展示上映のほか、作画原稿など制作資料の展示も行います。

特別宿泊料金のご案内

「ギンガクノフユ」を観覧のために西和賀町に来られる「参加客」の方々に、お得な宿泊料金をご用意いたしました。作品や合宿の様子に興味のある方はもちろん、この冬に東北を訪れる方々も西和賀まで足を伸ばしていただき、お得な料金で白く美しい雪の情景と「ギンガクノフユ」をご堪能ください。

適用期間: 2015年3月7日(土)～3月8日(日)の1泊2日

宿泊費: 学生3,000円 / 一般5,500円(西和賀町内温泉旅館一泊朝食付き)

※学生料金については、学校教育機関および高等教育機関に在籍している生徒・学生、または15歳～30歳未満の方が対象となります。また、特別な事情・要望があった場合を除いて、原則的に相部屋とさせていただきます。予めご了承ください。

パッチワーク参加者を大募集!

「風呂美」が今回取り組むパッチワークの旗づくり。町内で提供していただいた2,000着の古着を材料にすることで、西和賀町にゆかりのある作品にしたい!と考えたわけですが、どうせなら作品づくりにも参加してもらって、もっと町にゆかりのある作品にしたい……!というわけでパッチワーク参加者を募集します!年齢も性別も問いません。ご指導も冷やかしもヒマつぶしも大歓迎、お茶っこ飲みに来るだけでもかまいません。旧・川尻小学校でお待ちしています!

期間: 3月3日(火)～6日(土) 9:00～18:00 場所: 旧・西和賀町立川尻小学校

お問い合わせ: 0197-81-1135 [西和賀町観光協会 高橋いくみ]

Access, Map & Address

[アクセス・宿泊等に関するお問合せ] 0197-81-1135 (西和賀町観光協会)

西和賀町へのアクセス

◇飛行機

大阪—いわて花巻 約1時間20分
名古屋—いわて花巻 約1時間20分
いわて花巻空港—北上駅(バス) 約50分

◇鉄道

東京駅—北上駅(東北新幹線) 約3時間
北上駅—ほっとゆだ駅(JR北上線) 約45分

◇自動車

仙台市内から 約2時間
盛岡市内から 約1時間30分
北上市内から 約1時間
横手市内から 約40分
首都圏(浦和IC)から 約6時間

西和賀町文化創造館 銀河ホール

岩手県和賀郡西和賀町上野々 39 地割 195 番地 2
[Tel] 0197-82-3240 [Fax] 0197-82-2883
[Facebook] www.facebook.com/GingaHall
JR北上線「ほっとゆだ」駅から徒歩4分
秋田自動車道「湯田」I.C. から車で8分



ここからはじまれ。

GINGAKU

銀河ホール学生演劇合宿事業「ギンガク」は、芸術文化振興と地域振興の両立をめざして展開されている岩手県西和賀町の合宿事業です。作品制作の主会場は町が誇る演劇専用のホール「西和賀町文化創造館 銀河ホール」、合宿の主対象は芸術文化活動にかかわる全国の学生・若者たち、そして事業の企画運営の中心も全国の学生・若者たちです。

ギンガクはもうすぐ3年目を終えます。「自分たちは何をつくろうとしているのか」「この町で何をすべきなのか」いつも自問しながら手探りでやってきました。正直、この事業が一体どんな成果を上げているのか、いまだにうまく言えません。それでも最近になってようやく「ギンガクでは合宿をするたびに何かはじまる」ということが分かってきました。合宿中に、あるいは合宿がきっかけとなって、新しい何かは西和賀町で《はじまる》のです。

今回の冬季合宿『ギンガクノフユ』でも、きっとまた新しい何かは《はじまる》ことでしょう。どんなことが《はじまる》のかは分かりませんが、それは銀河ホールでお確かめください。もしかしたらあなた自身、その当事者になるかもしれません。なにはともあれ、雪の降りつもる西和賀町で、作品とともにお待ちしています。

雪の演劇祭 2015

2015年3月7日(土) 13:00- 西和賀町文化創造館 銀河ホール

モニタリング開催から3年。4回目の冬季演劇合宿は「銀河ホール学生演劇祭」から「雪の演劇祭」へ名称を一新しました。また、「既存の物語を題材とする作品」という統一ルールを設けるとともに、審査や観客投票によるコンクール形式を導入するなど、新たな取り組みもスタートします。参加団体は東京を中心とした4団体。演劇だけでなくダンスやメディア・アートの作品もあり、幅広いプログラムとなる予定です。小泉八雲、宮沢賢治、レオ＝レオニ、さらには鬼剣舞といった題材が、若い感性によってどのように舞台上にあらわれるのか。そして、この合宿が西和賀町にどんな刺激を与えるのか。全国でも珍しい合宿スタイルの演劇祭、どうぞ注目ください。

雪の凍った月夜の晩、
きっとあなたもいらっしゃい

Art unit NANUK [日本大学芸術学部]

『げんとうかい～雪と星の幻燈～』

演出：辻内はるか

一面の雪がみんな凍った冬の朝、四郎ときつねの紺三郎が会います。「今夜、私どものほうで幻燈会をやります。十二歳以上は入れません。どなたも目をまんまるに開いて見てください……」雪の夜、映し出されるのは小さなラブストーリーと星々の歌。

【題材作品】
宮沢賢治『雪わたり』『シグナルとシグナレス』
『よだかの星』

おまつり・おまつり・とっぴんぱらりん
たのしく・ゆかいに・おまつり・おまつり

銀鮭（スベア産）[日本大学芸術学部ほか]

『はれのひ』

演出：中込遊里（鮭スベアレ）

大きな森のかたすみに暮らす小さな野ねずみたち。通りがかりの町ねずみが教えてくれた「おまつり」に心を奪われた野ねずみたちは、さっそく「おまつり」をやってみることにしたのですが……。『スイミー』や『フレデリック』で知られるレオ＝レオニの絵本を原案に、子どもたちも大人たちも楽しめるお芝居を上演します。

【題材作品】
レオ＝レオニ『みどりのしっぽのねずみ』

少年は呼吸するように描く

今 ima いま [東京藝術大学]

『え - が・く』

振付：井上潤美

少年は描く。
とにかく描く。
ひたすら描く。
やっぱり描く。
至る所に描く。
ただただ描く。
一心不乱に描く。
そして描く。

【題材作品】
小泉八雲『猫を描いた少年』

アップデートされる伝統

ode [筑波大学]

『湯本鬼剣舞 1.1』

構成：及川和也

鬼剣舞とは岩手県南部に伝わる伝統芸能です。各地には幾つかの保存会が存在し、冬の演劇祭の舞台であるこの西和賀町にも、湯本鬼剣舞の保存会があります。「湯本鬼剣舞 1.1」では、この鬼剣舞に対して近年メディアアートとしての舞台表現に用いられる諸技術を応用した映像作品を制作します。

【題材作品】
湯本鬼剣舞「一人加護」

湯田温泉峡 風呂美術大学 2015 冬

2015年3月8日(日)～ [展示期間未定] 旧・西和賀町立川尻小学校 校舎

温泉旅館と美大生のコラボレーションからスタートし、着実に西和賀町内で活動の場を広げてきた「湯田温泉峡風呂美術大学」。この冬は昨年12月から町内で集めた古着2000着を素材に、大きな「旗」をつくります。町内からも協力者を募集し、世代や地域をこえて一緒につくることの喜びを分かち合える場づくり・作品づくりを目指します。プロジェクトの中心となっているのは、京都造形芸術大学と日本大学芸術学部の学生たち。昨年11月には町内の事前視察も行い、廃校となった旧・川尻小学校を制作と展示の会場に選びました。町内で譲っていただいた古着を繋ぎ合わせた旗を、かつて町民のみなさんが通った校舎の窓いっぱい飾ります。西和賀町に流れる時間や歴史に思いを馳せつつ、会場に足をお運びください。

学生と一緒にパッチワークしてくれる方を募集します！（くわしくは裏面をご覧ください）

制作はミシンと手縫いで行う予定です。期間は2015年3月3日から3月6日まで、作業場所は旧・川尻小学校を予定しています。お申込みいただいた方には、2月下旬頃にあらためてご連絡いたします。また、今回は公開制作ですので、期間中の飛び入り参加も大歓迎です！



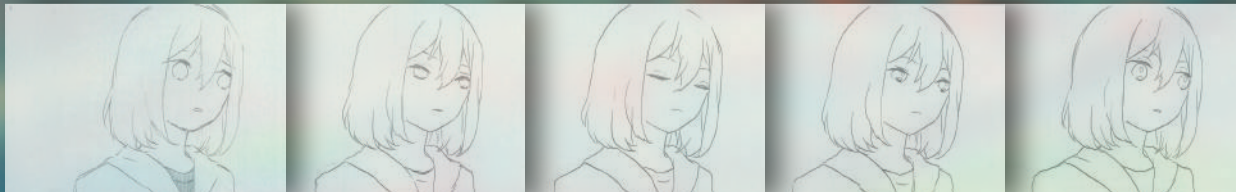
放課後のちいさな芸術家 × 西和賀高校美術部

2015年3月7日(土) 西和賀町文化創造館 銀河ホール

昨年度、2ヶ月おきに湯田小学校の学童を訪問して展開されたワークショップ企画「放課後のちいさな芸術家」。担当した学生が地域おこし協力隊に就任するという思わぬ成果も出したこのプロジェクトが、今年度は西和賀高校美術部とともに短編アニメづくりに取り組みました。卒業したばかりの芸大出身者と映像専攻の学生が講師となり、一年をかけて高校生と手さぐりで制作。「雪の演劇祭2015」の上演日に銀河ホールでお披露目します。わずか数分の荒削りな作品ですが、西高美術部とギンガクの果敢で無謀な挑戦の成果をご覧ください。

制作作品：『after』[短編アニメーション]

住み慣れた家を引っ越すことになった小学生の女の子・さえ。引っ越しの当日になっても気乗りしないさえをよそに、あっという間に荷物は運び出され、いよいよ出発のときが来る。そのとき、さえは死別した弟・かなたの姿を庭に見る。そして誰もいないはずの、からっぽになった家の中へとひとり戻っていく……。



ギンガクノフユ

2014年度 銀河ホール学生演劇合宿事業 冬季合宿

Web | <http://gingaku.jimdo.com/> Facebook | <https://www.facebook.com/Gingaku> Blog | <http://gingaku.blogspot.jp/> Twitter | @nisiwaga_SDF

主催 | 銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会
協力 | 西和賀町・西和賀町文化創造館・湯田温泉峡旅館組合・劇団ぶどう座・西和賀町観光協会
西和賀商工会・湯本鬼剣舞保存会・岩手県立西和賀高等学校美術部
助成 | 平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ